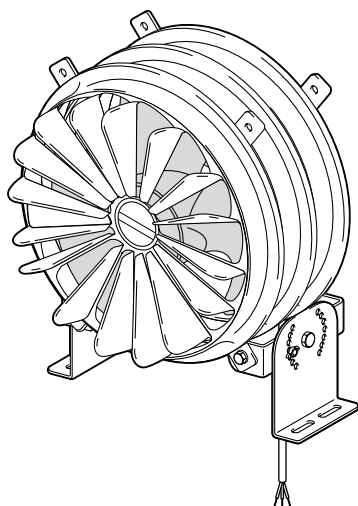
1102875HC3501

ソーワテクニカ

ストレートパワーファン

形　名

PF-H30CSC1　単相 100V
PF-H30CTC　３相 200V
PF-H35CTC　３相 200V

据付・取扱説明書

もくじ

工事店さまへ

据付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

■この製品は単相製品と３相製品があります。
電源を確認し、取付工事を行ってください。

据付工事終了後は、必ずお客さまにこの説明書をお渡しください。

お客さまへ

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」とともに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

1. 安全のために必ず守ること

お客さまへ

工事店さまへ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

⚠警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- **雨水のあたる場所には据付けない**
  ショート・感電の原因
- **定格電圧・定格周波数以外では使用しない**
  火災・感電の原因
- **爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生するおそれのある場所には据付けない**
  爆発や火災の原因

指示に従う

- **メタルラス張り、ワイヤラス張り、または、金属板張りの木造の造営物に据付ける場合、ボルトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう据付ける〔電気設備技術基準の解釈　第167条3項〕**
  漏電したとき、火災の原因
- **据付けは専門業者に依頼する**
  漏電・感電や火災の原因
- **高さ1.8m以上の容易にふれることのできない場所に設置する**
  けがの原因
- **漏電ブレーカを確実に取付ける**
  漏電の時に感電の原因
- **お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカを切る**
  感電やけがの原因
- **振動が大きい、羽根が回らないなどの異常時には、使用を中止する**
  転倒・焼損の原因。

接触禁止

- **運転中は危険ですから、製品の中に指や物を入れない**
  けがの原因
- **電源が入ったままで運転が停止しているとき、異常時（こげ臭いなど）・停電時は製品には絶対にふれない**
  突然運転し始めてけが・感電の原因

分解禁止

- **どんな場合でも改造はしない。分解修理は修理技術者以外の人は行わない**
  火災・感電・けがの原因
  修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください

水ぬれ禁止

- **製品を水や消毒液につけたり、消毒液をかけたりしない**
  ショート・感電・火災の原因

アース確認

- **アースを確実に取付ける**
  故障や漏電のときに感電の原因

⚠注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- **直接炎があたるおそれのある場所に据付けない**
  火災の原因
- **製品に異常な振動が発生した場合は使用しない**
  製品・部品の落下によりけがの原因
- **1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない**
  部品の破損、落下によりけがの原因
- **台風時、強風時には使用しない**
  製品・部品の落下によりけがの原因
- **製品にぶら下がらない**
  落下によりけがの原因

指示に従う

- **本体の据付けは振動のない強固な場所に確実に行う**
  落下によりけがの原因
- **電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。絶対に「手より接続」はしない。又、電源電線の結線部分はJIS C 8340の「電線管用金属製ボックス」内で行う**
  接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因
- **開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する**
  端面などでけがの原因
- **羽根の汚れがひどい場合は必ず清掃する**
  振動による部品の破損・落下によるけがの原因
- **長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカを切る**
  絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因

浴室取付禁止

- **浴室など湿気の多い場所（相対湿度90%以上）には据付けない**
  感電・火災の原因

お願い

- **指定している据付方法以外では使用しないでください。**
  「**3. 据付方法**」を参照してください。
- **据付場所が悪いと故障の原因となります。**
  つぎのような場所には据付けないでください。
  - 40℃以上になる場所
  - −10℃以下になる場所
  - 氷結するおそれのある場所
  - 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
  - 製品の前後に障害物のある場所
  - ほこりや油煙が多い場所
- **ダクトなどに接続しないでください。**
- **高圧水洗浄時はノズル先端をモータから50㎝以上離して、水圧は2MPa（20㎏f/㎝²）以下にしてください。**

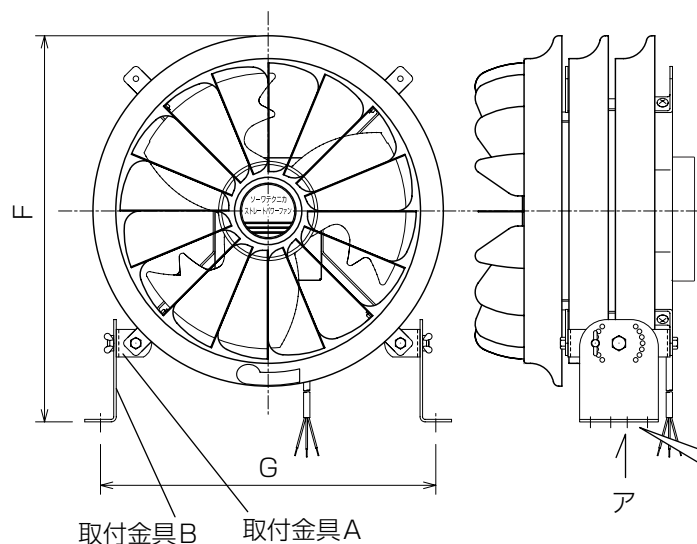
2. 外形寸法図

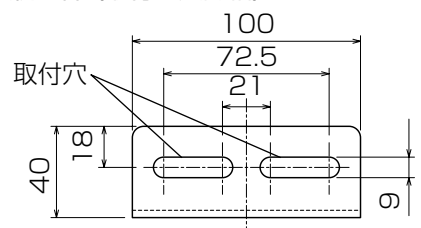
工事店さまへ

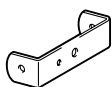
3芯ビニールキャブタイヤケーブル
0.75㎟ 有効長1m
※PF-H30CSC1の場合
2芯ビニールキャブタイヤケーブル

■変化寸法表　　単位（㎜）

機種名	A	B	C	D	E
PF-H30CSC1	420	390	269.8	135.9	28
PF-H30CTC	420	390	269.8	135.9	28
PF-H35CTC	475	445	279.8	135.9	28

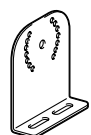
〈取付金具取付状態〉

■変化寸法表　　単位（㎜）

機種名	F	G
PF-H30CSC1	444	391
PF-H30CTC	444	391
PF-H35CTC	490	430

付属部品

●取付金具A……2個

●M8ボルト……4本

●ばね座金………4枚

●M8ナット……4個

●取付金具B……2個

●M10ボルト…2本

●戻り止め
M10ナット…2個

●蝶ボルト………2本

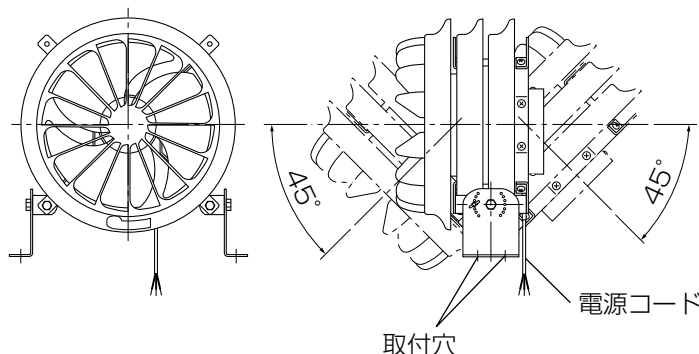
3. 据付方法

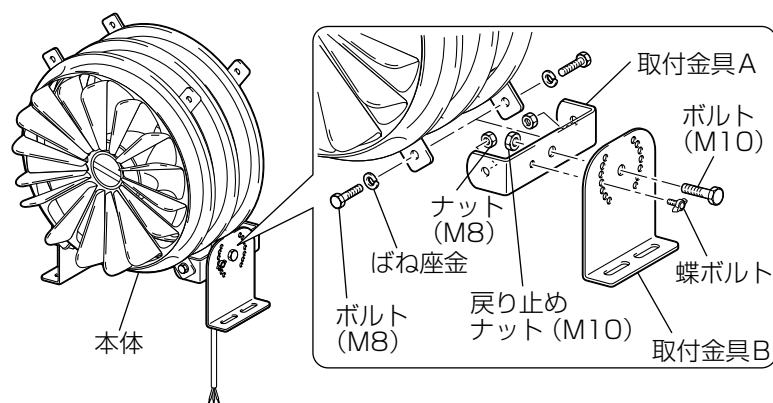
工事店さまへ

本体の固定は、十分強度のある場所に軸水平状態で据付けてください。
この製品は、高所取付用です。人が容易に触れることができる場所（床上 1.8m 以下）には据付けないでください

必ず電源コードが下側になるように据付けてください。
（故障の原因となります）

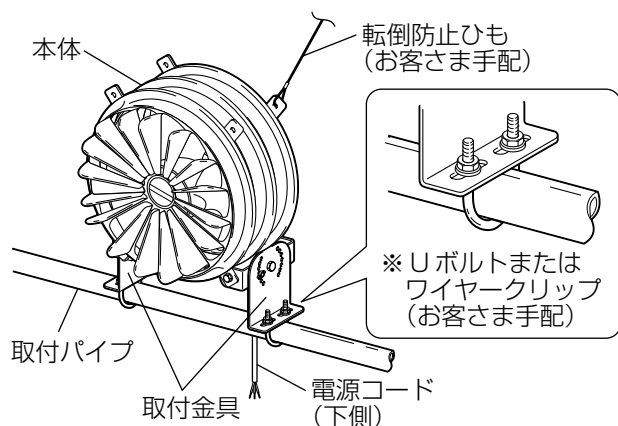
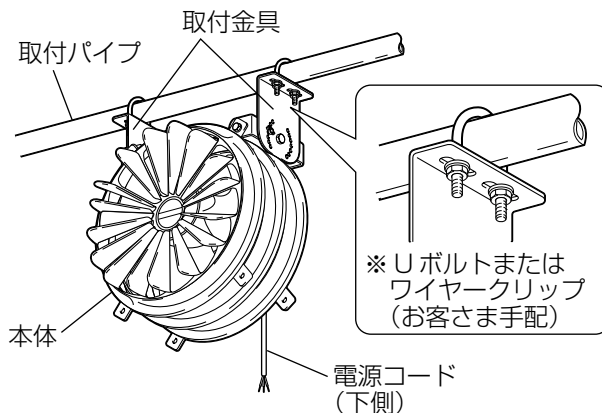
本体取付用穴を 4 か所以上使用して据付けてください。
（本体や部品の落下によりけがをするおそれがあります）

据付けは右記の方法に従ってください。
（据付姿勢は電動機軸水平状態から俯仰角 45°）

パイプ・ブレスへ取付ける場合

取付金具の取付け

お願い

Uボルト・ワイヤークリップはお客さま手配品です。
寸法をご確認の上手配してください。

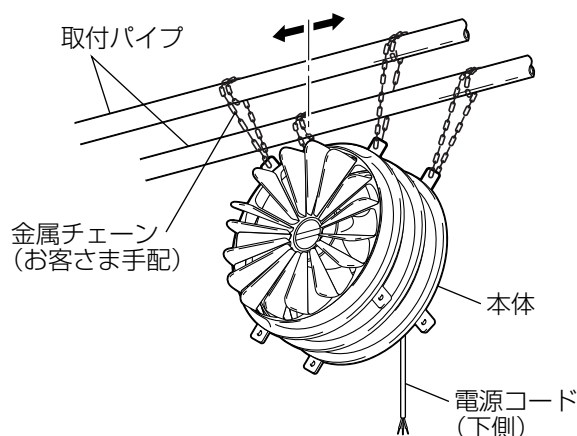
さび・腐食のおそれがありますので、溶融亜鉛メッキ品・SUS 品のご使用をお勧めします。

上据付けの場合

つり下げの場合

⚠注意

●ひもやチェーンで 1 か所以上つるす

転倒によるけがの原因。

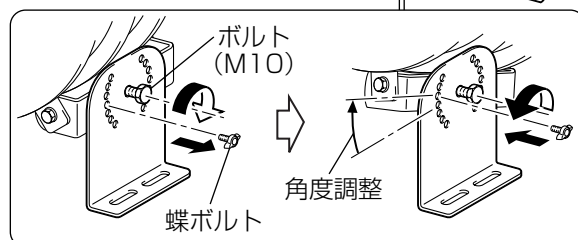
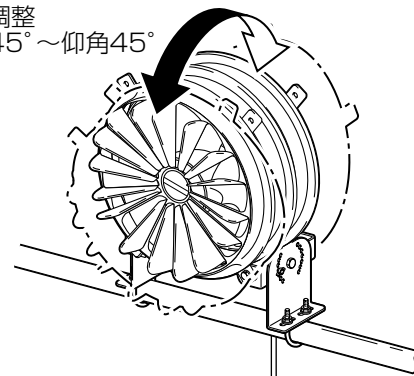
チェーンつり下げ据付けの場合

●ゆれ防止のため、チェーンは製品に対し外側に引っ張るように取付けてください。

角度調整のしかた

●**角度調整の際には、中央の戻り止めナットははずさない**
落下によるけがの原因。

本体角度は同梱の取付金具を用いることで、俯角 45°～仰角 45°まで 7 段階の調整が可能です。

1．本体据付け後、角度を調節する場合は、蝶ボルト（2 か所）をはずしてから、中心ボルト（2 か所）を緩める。

2．お好みの角度に調整後、蝶ボルトを締め付けてから中心ボルトを締め付ける。

電気工事

電気工事は、専門の工事店さまが電気設備技術基準に基づき実施してください。

電源の間違いがないか確認してください。間違った電源で運転されますとモータが焼損します。

モータ焼損および、配線回路保護のため送風機 1 台ごとにモータブレーカを使用してください。
（モータブレーカ等の選定にあたっては「**9. 仕様**」の電流の 1.2 ～ 1.5 倍程度を参考にしてください。）

必ず電気工事士によるD種接地工事（アース）を行ってください。

4. 試運転

工事店さまへ

電気工事終了後、正常に運転できるか使用者立会いのもと試運転を行ってください。

1．本体が確実に据付けられていますか。
2．電源コードに傷・いたみはありませんか。
3．正しくアース工事がしてありますか。
4．異常な振動や騒音がありませんか。
5．回転方向が逆ではありませんか。（3 相品の場合は 3 本の電源線のうち 2 本を入れ換えてください）

5. ご使用にあたって

お客さまへ

温度過昇防止装置について

モータには温度過昇防止装置として、温度ヒューズまたは、自己復帰形サーマルプロテクターが内蔵されています。拘束、過負荷、欠相運転、異電圧印加、あるいは周囲温度が基準以上に高い場合は、上記温度過昇防止装置が自動的に動作し回転が止まることがありますので、電源を切り原因を取り除いてください。再運転の場合には、以下を実施してください。

●温度ヒューズ内蔵機種………PF-H30CSC1
〈処置〉ヒューズが溶断し通電不能となり再運転できません。電源を切り、専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

●自己復帰形サーマルプロテクター内蔵機種………PF-H30CTC、PF-H35CTC
〈処置〉電源を切り、モータが冷えてから再運転してください。電源を切らず通電したまま放置しますとサーマルプロテクターが動作を繰り返し、接触不良や接点溶着につながるおそれがあります。この場合は、モータ交換が必要になります。電源を切り専門の工事店へモータ交換を依頼してください。

6. 点検・お手入れ

お客さまへ

●点検・お手入れの際は必ず電源を切る
感電やけがの原因。

⚠注意

●お手入れの際は手袋を着用する
けがの原因。

お手入れ

●汚れが目立ってきましたら 3 か月に 1 度を目安に清掃を行ってください。
●正規据付状態での散水では、モータ内に水が入らない構造となっていますが、モータ単品では絶対に水洗いしないでください。
（モータ内および軸受部に水がかかると漏電事故の危険があります）

お願い ●お手入れに下記の溶剤を使用しないでください。（変質・変色する原因となります）
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、アルカリ洗剤、化学ぞうきんの薬剤

点　検

●清掃の際、下記点検を行ってください。

さ　び	●製品および製品取付用のナット・ボルトがさびてませんか？
ガ タ つ き	●製品を据付けたナットやボルトがゆるんでませんか？ ●羽根やモータは確実に止められていますか？
損　傷	●モータの外観が変色していませんか？ ●電源コードに傷などはありませんか？
ほ こ り	●モータなど温度の高い部分にほこりの付着はありませんか？
異常音（1年に1回程度）	●軸受の寿命は約 1 万時間ですので使用状況によっては、点検のうえ交換が必要です。

保管のしかた

元電源を切り、製品への水やほこりの侵入がないようにビニールシートなどで覆ってください。

7. 修理を依頼される前に

お客さまへ

長い間ご使用の製品は、使用上支障がなくても、安全のための診断をお願いします。

下記の現象が見られる場合、お客さまで点検されても直らない場合は、事故防止のため元電源を切り、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。点検修理に要する費用などはお買上げの販売店にご相談ください。

現　象	点検と処置	点検実施者	
		工事店	お客さま
通電しても回転しない	• 電源の接続は正しいですか（正しく接続する）	○	
	• 元電源が切れていませんか（入にします）		○
	• 温度ヒューズが動作していませんか（ブレーカを切って原因を取り除き、モータを交換してから再運転する）	○	
停止と回転を繰り返す	• 自己復帰形サーマルプロテクターが動作していませんか（ブレーカを切って原因を取り除き、モータが冷えてから再運転する）		○
運転中に異常音や振動がする	• 羽根の締め付けがゆるんでいませんか（締め付け直す）	○	
	• 本体が確実に据付けられていますか（据付け直す）	○	
	• 軸受部から音がしていませんか（ボールベアリングを交換する）	○	
	• 全面にさびが発生していませんか（さびの発生した部品を交換する）	○	
焦げ臭いにおいがする	• 羽根は軽く回りますか（羽根に何か引掛かっている場合は取り除く）	○	
	• 周囲温度が 40℃を超えていませんか（40℃以下にする）		○
	• 異常に湿度が高い場所で使用していませんか（据付場所およびモータ内部の腐食確認後モータを交換する）	○	

8. アフターサービス

お客さまへ

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この**ソーワテクニカ**ストレートパワーファンの補修用性能部品を製造打ち切り後７年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

9. 仕　様

形　名	電源	電流(A)		起動電流(A)		騒音(dB)		風量(m^3/min)		本体質量(kg)
		50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	
PF-H30CSC1	単相　100V	1.0	0.97	3.0	2.8	50	54	51	60	7.1
PF-H30CTC	3相　200V	0.48	0.43	1.8	1.6	50	54	51	60	7.1
PF-H35CTC		0.83	0.72	2.9	2.8	56	59	80	92	8.3

※仕様値は、変更になる場合があります。

製造販売元　株式会社 ソーワテクニカ
〒509−9132 岐阜県中津川市茄子川中垣外1646-45　電話 0573−78−0302

技術指導元　三 菱 電 機 株 式 会 社